

いのちを守る福祉・防災都市東京へ！ 都政に憲法を！

都民がつくる革新都政

2013年2月15日 発行 = 革新都政をつくる会 発行人・中山 伸 〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 5F 電話 (5978) 4031 ホームページ: http://kakushintosei.org/ E-mail: info@kakushintosei.org (1部25円、送料は別途)

2012年都知事選挙 私たちの提案

福祉とくらしを破壊する都政から憲法が息づく人にやさしい都政へ

"改憲、福祉破壊、増税の悪政許すな!"

いのち、くらしを守る都政を!

生活保護水準の引き下げを許すな! 働くものの賃上げと雇用を! 原発再稼働反対! オスプレイ配備反対! 改憲許すな!

怒りと要求を総結集し 都政転換・要求実現へ力を合わせてたたかおう

15~24%の得票で衆院の3分の2を超える議席という小選挙区制「虚構の多数」の獲得の安倍自公政権は、国民のくらしと平和を脅かす危険な道を暴走しようとしています。

1月28日、安倍首相は所信表明演説で、経済、震災復興、外交・安全保障、教育で「危機」をあげました。そして経済政策では大胆な金融政策「などで「強い経済」をつくる」と述べ、外交・安全保障政策では緊密な日米同盟の復活を内外に示していく」と表明しています。

ひろがる国民の怒り・運動



賃上げでデフレ不況を脱却する春闘にしよう! 全労連・国民春闘共同委員会が主催して、1月22日、春闘闘争宣言行動を展開し、千代田区にある日本経済団体連合会(経団連)を包囲しました。

一方で、安倍政権がねらう9条改憲や消費税増税、原発再稼働、TPP参加、日本の過去の侵略戦争と植民地支配への歴史認識見直しにはふれませんでした。

大規模開発重点 都民に冷たい都予算案 「20年の東京・3カ年計画」

東京は、1月25日、復活を含めた2013年度予算案を発表しました。一般会計は6兆2640億円。猪瀬直樹知事が初めて編成した予算案です。あわせて長期計画「2020年の東京」の13~15年度3カ年計画「アクションプログラム」を発表しました。

猪瀬知事は、記者会見で「新たな東京モデルを発信しよう」と強調しましたが、高速度路や過大な港湾整備など大規模開発の推進を重点とする予算案です。その一方で、切実な福祉や雇用、中小企業対策は、きわめて不十分です。



昨年9月にオスプレイ配備に反対する沖縄県民大会を成功させた同実行委員会が主催して、1月19日、沖縄の思いを安倍首相に直訴する「NO OSPREY」東京集会(ノーオスプレイ)東京集会1月27日、日比谷野外音楽堂で開かれました。全国各地から4000人を超える人が参加。壇上に勢ぞろいした沖縄県41すべての市町村長や市町村議会議長、県議の代表が「沖縄の怒りは頂点に達している。『平成の沖縄 揆だ』と気迫の訴え、本土復帰41年の沖縄で「米軍は、また占領であるかのごとく傍若無人に振舞っていることへの怒りの『建白書』を確認しました。」

の音があがっています。安倍政権の生活保護切り下げにも「貧困の拡大再生産を招く」と各界から抗議の声があがっています。

「一定」へ向けて都民要求を 結集し、共同をひろげよう

春闘のたたかいが重要な局面を迎える中、2月20日、猪瀬知事が初めての所信表明を行い、13年度都予算案を審議する都議会定例会が行われます。開会日には、革新都政をつくる会が都庁で早朝宣伝を行い12時10分からは都庁第一庁舎前で都民連・東京社保協・東京地評の主催で開会日行動が展開されます。

都議会開会に先立ち、都民連は13年度都予算案画されていきます。



「国民に広く影響する生活保護切り下げは許さないと全国生活と健康を守る会連合会(全生連)は1月24日に全国から衆議院第一議員会館ホールに219人を集め、「許すな! 生活保護の切り下げ緊急集会」を行いました。東京都生活と健康を守る会連合会(都生連)も、緊急の提起で準備期間が1週間しかない中で全都から95人の仲間が結集しました。集会后は、都議会の開会に向けて要請行動を行い生活保護の改善を何としても阻止する決意に怒りの声をぶつけてきました。

革新都政をつくる会が、都知事選で示した都政政策「福祉とくらしを破壊する都政から、憲法が息づく人にやさしい都政へ」私たち高年齢者対策3%、少子化対策はわずか2.4%です。石原都政の路線を継承する2013年度予算案で展覧させることが、いま強く求められています。

都知事選の総括についても活発に論議され、都知事選をたたかった「人にやさしい東京をつくる会」は1月20日、選挙活動に区切りをつける「2012年都知事選を振り返る集い」を行いました。

シンポジウム 2020 異議あり! 東京オリンピック 3月4日(月) 18:30 開会 会場:日本青年館 501号室 (JR「信濃町」千駄ヶ谷駅 地下鉄銀座線「外苑前」駅3番出口 都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅A2出口 主催:「異議あり! 2020年オリンピック東京招致」集会実行委員会

映画「レ・ミゼラブル」を観た。1789年、革命で、ブルボア朝が倒れた後、立憲君主制に移行したフランス、パリ。さまざまの貧富の格差、不衛生、退廃。共和主義者の蜂起。学生を中心としたパリケードが築かれ、市街戦がはじまる。1832年6月5日の蜂起が舞台となつて、ジャン・バルジャン、マリウス、コゼットの物語はすすむ。そのとき、うたわれる「民衆の歌」。学生数人の歌声がどどどろろがり、街のおかみさんや、労働者の大きな歌声になる。アパートの窓から椅子や布団が投げられバリケードが築かれる。しかし、この戦いは結局敗北におわる。▼映画のラスト、死の床のジャン・バルジャンはマリウスとコゼットの腕に抱かれていて。現実には敗北に終わったこのパリケードが何百倍にもよくれあがり、何百倍の大きな声で歌われる勝利の「民衆の歌」で映画はおわる。ジャン・バルジャンの心のなかにあるべき未来を観客は観る。それが、若い世代の二人マリウスとコゼットにひきつがれるだろうこと▼18世紀のパリのことだが、「私たちは99パーセントだ」というウォール街占拠のたたかい、反原発の官邸前行動のたたかいかも、ひきつけ考えさせられた。「私たちは必ず勝利する」と。(の)

「国民に広く影響する生活保護切り下げは許さないと全国生活と健康を守る会連合会(全生連)は1月24日に全国から衆議院第一議員会館ホールに219人を集め、「許すな! 生活保護の切り下げ緊急集会」を行いました。東京都生活と健康を守る会連合会(都生連)も、緊急の提起で準備期間が1週間しかない中で全都から95人の仲間が結集しました。集会后は、都議会の開会に向けて要請行動を行い生活保護の改善を何としても阻止する決意に怒りの声をぶつけてきました。

首都直下地震

あらたな 東京都地域防災計画を考える②

昨年11月、「東京都地域 防災計画震災編(平成24年 修正)」が発表されました。災害対策基本法にもとづいて策定されるもので、今回の修正は、昨年6月、成立した改正基本法(第180回国会)と中央防災会議が



防災ウォッチングで「晴海防潮扉」を調査する参加者=12年6月、中央区晴海

策定した防災基本計画の見直し(同9月)をふまえておこなわれたものです。この間、国は中央防災会議のもとに「防災対策推進検討委員会」を設置し、南海トラフ巨大地震への被害想定を策定するとともに、首都直下地震についても、「首都直下地震対策協議会」を設置し、あらたな被害想定

の今年度内の策定に向けて検討をすすめることにも、「首都直下地震対策」についての中間報告(昨年7月)を発表するなど、急ピッチで

大規模地震の被害を未然に防ぎ、自然現象を「人災」とさせないためには、防災計画が、予防、応急、復旧

でとりくみをすすめていまだの最近の大規模地震から得た教訓、近年の社会経済情勢の変化、及び都民・都議会等の提言を可能な限り反映し策定したときとされてい

防災計画こそ生命線

この防災計画。被害想定がマスコミで大々的に、しかも、くり返しとりあげられるのに対して、その扱いは低調で、都民の関心を喚起するにはほど遠いもの

今年区市町村が、国の基本法改定、基本計画見直しをふまえて、都の防災計画との整合を図りながら、それぞれの防災計画の見直しをおこなうことになり

地域防災計画の見直しを考慮うえで、ポイントとなる問題、課題について見てみたいと思います。



鈴木 千枝子

(東京都立高校問題
連絡協議会)

連絡協議会

「早弁とか、掃除当番とかしてみたい」学費の理由で高校進学をあきらめないで。大人のみなさんへ「奨学金に募金を寄せてください。」というコマースが流れています。

すべての子どもたちに 希望溢れる高校生活を

都政転換 私の願

16

「希望する全ての子どもたちに、高校で学べる椅子を用意してください」と毎年、東京都知事と教育長さんにお願いに通って30年を超えました。教育長さんの

ボトムアップ型への転換を

第一に、住民参加でつくられるのか、どうか、という問題です。この点で、まず、問われなければならぬのは地域防災計画を策定する「地方防災会議」の構成と運営の問題です。

これまで、地方防災会議の構成は、災害対策基本

いるのが現状です。

こうした現状を改革する

が求められることになり

その際、地域や住民の意見、とりくみを反映させるために、構成員について官製型の町会や防災組織の代表にとどまらせるのではなく、地域の自主的な防災組織や、例えば小学校区ごとの住民代表、高齢者や災害時要支援者の見守り組織など、実際に防災の最前線にたつこととなる組織や住民を構成員とすることなど、地域の目線からの組織づく

3・11 東日本大震災2周年メモリアル集会
地震 津波 原発 被災地は今、そして私たちにできることは～
3月11日(月) 18:30 開会 会場：文京区民センター2階A
参加費：500円
基調講演：東日本大震災から2年 その現状と課題
鈴木浩 (福島大学名誉教授
・元福島県復興ビジョン検討委員会座長)
現地報告：
高橋政行 (宮城県高教組委員長)
定点観測レポート：
水久保文明 (防災問題を考える首都圏懇談会)
報告：都市型コミュニティと仮設住宅 (新建神奈川支部)
主催：防災問題を考える首都圏懇談会、東京災対連

都議会第1回定例会開会日 “都庁行動”へ参加を

2013年都予算を審議する第1回定例会が2月20日から3月28日の予定で開催。都民のいのちとくらしを守る切実な要求の実現を!

★ 2月20日(水) ★

8:00～ 9:00
都庁早朝宣伝《革新都政をつくる会》
12:10～12:45
都庁前昼行動<都庁第一庁舎前>
主催：都民連、東京社保協、東京地評